

43 アルベール・カーン庭園 (2021年3月30日)

パリの隣にあるブローニュ＝ビアンクールにあるオー＝ド＝セーヌ県立アルベール・カーン庭園には、日本庭園があります。銀行家として成功したアルベール・カーン (1860-1940) は、邸宅の周囲の土地を少しずつ買って敷地を広げ、フランス庭園、イギリス庭園や故郷のボージュ地方をイメージした森も造りました。カーンは、異文化を理解することが世界平和につながると考えたことから、様々な国の庭園を一か所に集め、世界一周した気分を味わえるような空間を造ったのです。また、世界の風俗や文化を知るために、私財を投じて世界中に何人もの写真家を派遣しました。写真家が撮影した大量の写真は、当時の世界を知る貴重な資料になっています。

カーンが日本庭園を造ったのは、当時の富裕層では日本人の庭師を抱えて日本庭園を造らせることが一種のステータスであったことと、彼自身が日本の実業家とも親交があったことが背景にあると考えられます。日本村 (Le Village Japonais) と呼ばれるエリアには、日本から移築した古民家や茶室があります。日本にある日本庭園とは少し異なりますが、フランスの樹木や石と日本の木造建築が融合した日本的な庭園 (le jardin japonisant) です。



庭園内の日本村の隣には、約 30 年前に日本人造園家の高野文彰氏によって、日本現代庭園 (Le Jardin Japonais Contemporain) が造られました。これは、日本の伝統的な庭園の要素を取り入れた現代的な庭園です。このエリアは、カーンの誕生から試練や紆余曲折を経て死に至るまでのカーンの人生を表現したものになっています。



## パリの日本大使館員がフランスで見つけた日本

また、庭園に隣接して、日本人建築家・隅研吾の設計によるアルベール・カーン美術館の建設が進められています。

これから本格的な春を迎えると、庭園内では桜や美しい花々が咲きます。

お近くにお住まいの方は、フランスにある日本庭園を歩きながらお花見を楽しまれてはいかがでしょうか？

<https://albert-kahn.hauts-de-seine.fr/> （週末は要予約）

